



M I N O G A O K A

みのが丘

校 是

誇り・希望・理想

華があり 挨拶があり
美しい言葉で語れる生徒

平成 26 年度
第 9 号

9 月 30 日発行
文責：羽賀正晃

市新人大会大活躍！ … 3 種目優勝、4 種目準優勝

9 月 27 日（土）、塩竈市中学校新人体育大会が開催されました。団体戦では 3 種目を制覇し、4 種目で準優勝を果たしました。また、個人戦でも剣道やバドミントンなどで大いに活躍し、県大会やブロック大会への出場を決めました。その他にも多くの競技で熱戦が繰り広げられました。大切なことはこの大会を通して学んだこと、チームとしてまたは個人としての課題は何なのかを理解することです。来年度の市中総体でのそれぞれの目標に向けて、日々の練習に励んでほしいと思います。

- [野 球] 準優勝 … 対二中 2-0、対三中 1-2
- [サッカー] 3 位 … 対三中 2-2 (PK 負)、対玉中 16-0
- [ソフトボール] 対玉中 2-13
- [男子ソフトテニス] 《 団体戦 》 リーグ戦 0 勝 2 敗
《 個人戦 》 3 位：千田碧海・佐藤湧磨 組
- [女子ソフトテニス] 《 団体戦 》 リーグ戦 1 勝 2 敗
- [男子バスケットボール] **優 勝**(ブロック大会へ)
… 対三中 56-24、対玉中 45-28
- [女子バスケットボール] 3 位 … 対三中 39-42、対二中 46-45
- [女子バレーボール] 準優勝 … リーグ戦 2 勝 1 敗
- [男子卓球] 《 団体戦 》 準優勝 … リーグ戦 2 勝 1 敗
《 個人戦 》 3 位：荒川健志郎、佐々木亮太
- [女子卓球] 《 団体戦 》 選手数が足りないため個人戦のみ出場
《 個人戦 》 2 位：伊藤仁菜
- [男子バドミントン] 《 団体戦 》 **優 勝**(県大会へ) リーグ戦 3 勝 0 敗
《 個人戦 》 S … 2 位(県大会へ)：司東宋大
W … 1 位(県大会へ)：伊藤優希・吉岡 真 組
- [女子バドミントン] 《 団体戦 》 準優勝(県大会へ) リーグ戦 2 勝 1 敗
《 個人戦 》 S … 1 位(県大会へ)：和島百燿
- [男子剣道] 《 団体戦 》 **優 勝**(県大会へ) … リーグ戦 2 勝 0 敗
《 個人戦 》 1 年… 1 位(県大会へ)：相沢陵輝
2 位：佐藤 頼、3 位：吉田悠人
2 年… 1 位(県大会へ)：蓬田圭吾、2 位(県大会へ)：内田海斗
3 位：太田峻平、阿部秀彦
- [女子剣道] 《 団体戦 》 選手数が足りないため個人戦のみ出場
《 個人戦 》 2 年… 1 位(県大会へ)：今野瑤子、2 位(県大会へ)：相沢杏佳
- [柔 道] 《 団体戦 》 (県大会へ) … 本校のみ出場
《 個人戦 》 1 年の部… 1 位：佐藤大輝
2 年の部… 1 位：瀬戸裕貴
軽量級 … 1 位：合田 暉
重量級 … 1 位：瀬戸裕貴



新人県大会・ブロック大会の日程

- 男子バスケット … 10/25(土)・26(日)：会場未定
- 柔 道 … 11/15(土)：宮城県武道館
- バドミントン … 11/15(土)・16(日)：宮城野体育館
- 剣 道 … 11/22(土)・23(日)：田尻総合体育館

9月のトピックス

市中学校弁論大会



9/24(水)、塩竈二中を会場にして市中学校弁論大会が開催され、本校からは山下奈織さんと後藤拓真くんが出場しました。聴衆として塩二中の全校生徒が見守る中、それぞれの思いや考えを発表し、共に優秀賞を獲得しました。

市特別支援学級交流会



9/24(水)、塩竈二中を会場にして市特別支援学級交流会が行われました。本校からは6名が参加し、市内中学生17名の交流会となりました。学校紹介や〇×ゲームで親睦を深めた後、段ボールを用いて写真立てを制作しました。

お待ちしております … 「うしおの光」学習発表会

10月19日(日)に「うしおの光」学習発表会を開催します。各学年の学習内容は前回の学校便りでお知らせしたとおりです。特に3年生はその後にも地域清掃活動を行い、地域の方々から温かい励ましの言葉をいただきました。また、生徒自作の「塩竈の紹介」パンフレットを本塩釜駅前や鹽竈神社で配り好評を得ました。文化祭のようなアトラクションはありませんが、発表を通して生徒たちの成長した姿をご覧ください。

成長させてくれたもの
二年 山下奈織

朝五時三十分に見覚ましがなる。夏休みなのにいつもより早く起き、学校に向かう毎日。

私は今年の夏休み、駅伝練習に参加しました。去年も駅伝練習には参加していましたが、今年は何かが違っていました。

去年は私の所属するバスケット部員は全員強制参加でした。だから、私はとくに目標もたずただ走らされているという感じで走っていました。それに、「まだ、一年生だから駅伝練習についていけなくて当たり前」と思っている自分もどこかにいました。

でも、今年は何かが違っていました。まず、バスケット部員は強制参加ではなく自由参加になりました。自由参加になったことよって、つらい駅伝練習をやらなくてもいいという開放感が私の心に生まれました。でも、その時大事なことを思い出しました。三年生が引退してから、私たちは九月にある新人大会で一位になって県大会出場するのを目標にしていたことを。その新人大会で他の中学校に走り負けるのが一番嫌だ。全力でプレーしたい。そう思ったから私は今年も駅伝練習に参加しようと決心しました。

そして夏休み。やっぱり練習はきつく、つらいものでした。アップでは、まず始めに一定の早さで二十分間走り続け、その後にはラダーワークをやり、最後に百メートルを八十パーセントの力で走り、残りの百メートルをジョックでつなぐというのを必ずやります。それからメニューに入りま

す。アップだけでもきついです。先生の考えるメニューは、四十分間走り続けるものなどがあり、もつときつかったです。そのメニューをその日の試練と私は思って走りました。

時は、同じように走っている仲間が手で背中をうしろから押してくれました。みんな同じ条件で走っているからその仲間もつらかったはずですが。それなのに私の背中を押して一緒に走ってくれました。私はその仲間にとっても感謝しています。その他にも声を出して、支え合い毎日走りました。だから私は頑張ることができました。また、同じバスケット部の後輩もいるから、後輩の前で途中リタイアする恥ずかしい姿を見せたくないという小さなプライドもありました。

このように去年の私とは考え方も参加する気持ちのもち方も全てが違っていました。「新人大会で勝ちたい」という目標があったから頑張れたのだと思います。

この夏の駅伝練習を通して得たものが二つあります。一つ目はみんなで支え合うということ。部活でつらい練習があった時に声をかけて支え合っていたいと思います。二つ目は途中であきらめず、最後までやりきるといいたい。苦しいところを乗り越えなければ成長できないと実感しました。

私はこの夏、走りきれたことに誇りをもっていきます。部活で結果を残したいという思いがあったから、最後まで走りきることができたのです。私は試合中に疲れてくると、あまり声を出さないとプレーしてしまいます。それが私の悪いところの一つです。試合で負けていても諦めないかぎり、勝つ可能性はあります。そういう時こそ副部長としてチームを支え、声を出して盛り上げて流れを変えていきたいと思えます。また、人一倍コート上を走って、点数につながるプレーをたくさんして、チームを勝利への道に導きたいと思えます。今年の夏の駅伝練習を通して、私は自分の心が強くなったと感じています。成長したことに自信をもつて、もつともっと努力を重ねていきたい。そのためにも私は今日も走り続ける。